

編集後記

・少し前の話だが、アメリカで心臓移植手術を受けて帰ってきた方が、帰国後パチコンばかりやっている、と批判されたことがあった。たしか、周囲の援助で外国まで行って、そのうえ人の心臓までもらってきたのだから、もっと有意義な人生を送ったらどうか、というような批判だったと思う。QOLを言う時、このような道徳的な生真面目さでも言おうか、道学者ぶった物言いになる恐れがある。

・一客観的に評価されるような「人生の質」、「人生の在りよう」とは何なんだろう？ 評価は可能なのか？ 可能だとしてもなんのために？ なんて考えてしまう。どんな生き方にも価値があり、生きとし生けるもの全てその在りようまで含めて意味がある。

・この言葉は無限拡大して使うのではなく、限定的に使ったほうが分かりやすく、有用なのではないのか。今回の特集は「リハビリテーションにおける QOL と ADL」という意味。さまざまな領域で語られている概念としての QOL から、改めてリハビリテーションをとらえ返すことの意義は大きい。(K)

〈バックナンバーと特集テーマ〉

ここに掲げた各号については、当社に在庫がございます。これ以前の号については東亜ブック ☎171 東京都豊島区池袋4-1744-5

☎03 (3985) 4701) にお問い合わせ下さい。

第20巻 (1992年)

第11号 老人保健施設とリハビリテーション

第12号 脳卒中リハビリテーション医療の現状と問題点

第21巻 (1993年)

第1号 骨代謝の基礎医学とリハビリテーション

第2号 車椅子をめぐる諸問題

第3号 視覚障害者・聴覚障害者とリハビリテーション

第4号 職業リハビリテーションの最近の動向

第5号 体幹機能障害とリハビリテーション

第6号 歩行補助具の適応と訓練

第7号 骨関節疾患—術前術後のリハビリテーション

第8号 神経心理障害とリハビリテーション

第9号 リハビリテーション医学における疫学

第10号 高齢化社会とリハビリテーション

総合リハビリテーション (第21巻 第11号)

1993年11月10日発行 (毎月1回10日発行)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

1 部定価 1,957円 (本体1,900円)
(配送料61円)

〔年ぎめ予約購読料 22,320円
(本体21,670円, 送料弊社負担)〕

☎ 113-91 東京都文京区本郷5-24-3

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5704

(担当: 鹿嶋・富永)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 東京 7-96693番

印刷所 三報社印刷(株): 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (株)東広社: 電話 (03) 3409-8803

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 1993, Printed in Japan.
・ 本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みに関する許諾権は医学書院が保有しています。

【R】〈日本複写権センター委託出版物・特別扱い〉

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター(03-3269-5784)の許諾を得てください。

編集顧問

天 児 民 和
大 島 良 雄
河 邨 文 一郎
五 味 重 春
津 山 直 一

編集委員

明 石 謙
伊 藤 利 之*
上 田 敏
大 井 淑 雄
大 橋 正 洋*
緒 方 甫
千 野 直 一
永 田 雅 章*
中 村 耕 三*
蜂 須 賀 研 二*
横 山 巖
(* 編集幹事)

編集同人

江 口 壽 榮 夫
小 川 孟
荻 島 秀 男
奥 川 幸 子
落 合 美 美 子
加 倉 井 周 一
古 賀 唯 夫
近 藤 徹
斉 藤 正 也
笹 沼 澄 子
澤 村 誠 志
高 橋 勇
高 松 鶴 吉
武 智 秀 夫
田 中 信 行
土 肥 信 之
土 肥 豊
中 村 隆 一
奈 良 勲
野 島 元 雄
野 村 歡
初 山 泰 弘
福 井 圀 彦
福 田 道 隆
村 上 恵 一
矢 谷 令 子
渡 辺 英 夫
(五十音順)